

平成31年度私立高等学校入学予定者数

50首順

3月18日現在

学校名	学科	試験種類	募集人員 (内部募集含)	人数には内部進学者を含まない			内部進学者	入学予定者数	備考 帰国生徒等
				志願者数	合格者数	手続者数			
秋草学園高等学校	普通	単願	280	200	195	198	0	278	
		併願		744	727	80			
浦和明の星女子高等学校	普通	※高校の募集はおこなっておりません					172	172	
浦和学院高等学校	普通	単願	400	373	370	370	0	736	
		併願	400	2,570	2,510	366			
浦和実業学園高等学校	普通	単願	400	224	220	221	38	933	
		併願		2,199	2,171	350			
	商業	単願	240	214	213	214	0	324	
		併願	1,287	1,226	110				
浦和ルーテル学院高等学校	普通	単願	75	8	8	8	40	57	
		併願	18	18	9				
浦和麗明高等学校	普通	単願	320	193	177	177	0	300	
		併願		691	629	123			
叡明高等学校	普通	単願	460	277	261	261	0	623	
		併願		2,658	2,537	362			
	情報	単願	60	24	20	20	0	38	
		併願	225	193	18				
大妻嵐山高等学校	普通	単願	180	56	56	56	23	101	帰国生徒 2
		併願		155	153	22			
大宮開成高等学校	普通	単願	500	155	142	142	92	595	
		併願		1,760	1,633	361			
開智高等学校	普通	単願	380	104	99	99	358	618	帰国生徒 3
		併願	120	1,589	1,496	161			
開智未来高等学校	普通	単願	240	122	104	57	85	166	
		併願	215	215	88	24			
春日部共栄高等学校	普通	単願	270	210	206	206	111	541	
		併願	230	1,468	1,395	224			
川越東高等学校	普通	単願	400	296	255	255	0	484	
		併願	2,210	1,550	229				
慶應義塾志木高等学校	普通	単願	40	132	41	41	15	245	帰国生徒 8
		併願	210	1,415	373	189			
国際学院高等学校	普通	単願	80	6	6	4	12	35	
		併願		167	227	19			
	総合	単願	160	123	117	118	1	194	
		併願	1,382	1,228	75				
埼玉栄高等学校	普通	単願	560	313	305	305	68	552	
		併願		1,580	1,115	179			
	保健体育	単願	160	218	214	214	38	259	
		併願	149	25	25				
埼玉平成高等学校	普通	単願	350	161	160	160	19	289	
		併願	785	777	110				
栄北高等学校	普通	単願	280	208	202	202	0	414	
		併願	1,253	1,223	212				
栄東高等学校	普通	単願	400	21	18	18	272	452	帰国生徒 8
		併願	2,434	1,916	162				
狭山ヶ丘高等学校	普通	単願	400	219	183	153	61	391	
		併願	1,075	967	177				
自由の森学園高等学校	普通	単願	162	149	134	134	42	186	
		併願	40	63	58	10			
秀明高等学校	普通	単願	200	14	11	11	69	81	
		併願	200	16	14	1			
秀明英光高等学校	普通	単願	200	193	191	191	0	321	
		併願	200	1,912	1,892	130			
淑徳与野高等学校	普通	単願	240	164	151	145	116	416	
		併願	120	735	689	155			
城西大学付属川越高等学校	普通	単願	280	93	87	87	67	239	
		併願	473	457	85				
正智深谷高等学校	普通	単願	360	240	236	236	0	332	
		併願	1,037	996	96				
昌平高等学校	普通	単願	490	363	339	339	61	549	帰国生徒 6
		併願	1,198	1,144	149				
城北埼玉高等学校	普通	単願	280	25	25	25	104	183	
		併願	1,186	262	54				

学校名	学科	試験種類	募集人員 (内部募集含)	人数には内部進学者を含まない			内部進学者	入学予定者数	備考 帰国生徒等
				志願者数	合格者数	手続者数			
西武学園文理高等学校	普通	単願	290	87	77	61	92	216	
		併願		556	509	63			
	理数	単願	80	23	19	14	0	42	帰国生徒 1
		併願		149	132	28			
	英語	単願	80	15	14	10	0	26	帰国生徒 1
		併願		110	97	16			
西武台高等学校	普通	単願	500	225	221	221	28	391	
聖望学園高等学校	普通	単願	300	306	205	193	28	325	
		併願		899	700	104			
東京成徳大学深谷高等学校	普通	単願	350	267	260	259	8	389	
		併願		1,330	1,286	122			
東京農業大学第三高等学校	普通	単願	400	345	333	333	55	538	
		併願		849	820	150			
東邦音楽大学附属 東邦第二高等学校	音楽	単願	20	37	37	37	0	41	
		併願	20	8	7	5			
獨協埼玉高等学校	普通	単願	160	116	108	108	150	350	帰国生徒 3
		併願		474	432	92			
花咲徳栄高等学校	普通	単願	440	335	330	330	0	453	
		併願		1,242	1,208	123			
	食育実践	単願	80	68	68	68	0	69	
		併願		6	6	1			
東野高等学校	普通	単願	350	319	271	271	0	477	
		併願		1,805	1,670	206			
武南高等学校	普通	単願	180	218	213	213	21	560	
		併願		220	1,937	1,838			
星野高等学校	普通	単願	370	341	340	340	124	590	
		併願		280	888	816			
細田学園高等学校	普通	単願	440	255	249	249	0	405	
		併願		1,198	1,160	156			
本庄第一高等学校	普通	単願	450	244	237	237		283	
		併願		503	443	46			
本庄東高等学校	普通	単願	285	234	231	228	108	413	
		併願		1,174	1,150	77			
武蔵越生高等学校	普通	単願	380	260	254	253	0	362	
		併願		864	846	109			
武蔵野音楽大学附属高等学校	音楽	単願	30	19	19	19	0	23	
		併願	30	7	7	4			
山村学園高等学校	普通	単願	400	250	243	243	0	476	
		併願		1,610	1,545	233			
山村国際高等学校	普通	単願	240	385	313	222	0	333	
		併願		1,134	1,010	111			
立教新座高等学校	普通	単願	280	57	44	44	188	328	
		併願		1,386	621	96			
早稲田大学本庄高等学院	普通	単願	320				0	345	帰国生徒 57
		併願							
全日制 合計		単願合計		9,504	8,832	8,620			
		併願合計		55,975	47,832	6,948			
			17,257	65,479	56,664	15,568	2,666	18,539	帰国生徒 89
大川学園高等学校	普通	単願	40	30	30	30	0	41	
		併願			107	106			
福祉	普通	単願	40	32	32	32	0	37	
		併願			37	37			
国際学院高等学校	普通	併願	80	11	11	11			未決定
志学会高等学校	普通	単願	140	17	17	17	0	19	
		併願			6	6			
武蔵野星城高等学校	普通	単願	140	83	82	82	0	141	
		併願			656	650			
通信制 合計		単願合計		162	161	161			
		併願合計		817	810	77			
合計			440	979	971	238		238	
【参考】 昨年度同時期			17,825	70,639	60,350	16,442	2,707	19,143	帰国生徒 89

東京都 平成 30 年度 公立中学校卒業生の評定調査

平成 31 年 3 月 28 日東京都教育庁

東京都教育委員会は、学習指導要領の目標に準拠した評価の客観性・信頼性を確保するため、都内公立中学校第 3 学年及び義務教育学校第 9 学年(平成 30 年 12 月 31 日現在)の評定状況の調査を、目標に準拠した評価が導入された平成 14 年度より実施しています。本年度についても、都内公立中学校第 3 学年及び義務教育学校第 9 学年(平成 30 年 12 月 31 日現在)の評定状況の調査を実施し、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

なお、東京都立高等学校入学者選抜で活用した評定は、今回調査した都内公立中学校第 3 学年及び義務教育学校第 9 学年(平成 30 年 12 月 31 日現在)のものであります。

1 目的

都内公立中学校第 3 学年及び義務教育学校第 9 学年(平成 30 年 12 月 31 日現在)の学習指導要領の目標に準拠した評価による評定状況について調査を行い、評定の客観性・信頼性の確保に役立てる。

2 調査内容

都内公立中学校第 3 学年及び義務教育学校第 9 学年(平成 30 年 12 月 31 日現在)の各教科の評定状況

3 調査対象

都内公立中学校等 624 校(中等教育学校、義務教育学校を含む。)

4 調査結果

(1) 各教科の評定分布状況

(単位：%)

(右) 評定 (下) 教科		5	4	3	2	1
国語	31	11.7	25.3	48.4	11.7	2.9
	30	11.6	25.6	48.1	11.8	3.0
社会	31	14.0	23.5	44.8	14.3	3.4
	30	13.9	23.7	44.8	14.3	3.4
数学	31	13.3	22.9	45.2	14.6	4.0
	30	13.1	23.3	44.7	14.7	4.2
理科	31	12.4	23.3	47.8	13.3	3.2
	30	12.9	23.8	46.7	13.4	3.2
音楽	31	12.6	26.4	49.5	8.9	2.6
	30	12.7	26.8	49.0	8.9	2.6
美術	31	11.1	27.4	50.7	8.4	2.5
	30	11.0	27.7	50.9	8.0	2.5
保健体育	31	9.3	27.8	53.0	7.6	2.4
	30	9.0	27.7	53.1	7.7	2.5
技術・家庭	31	10.3	26.6	51.6	9.1	2.4
	30	10.3	27.0	51.2	9.2	2.4
外国語(英語)	31	14.6	22.2	43.1	16.2	3.9
	30	15.0	22.4	42.8	16.0	3.9
9教科全体	31	12.1	25.0	48.2	11.6	3.0
	30	12.1	25.3	47.9	11.6	3.1

注

1. 上段は平成31年度選抜、下段は平成30年度選抜の調査結果である。
2. 四捨五入の処理により、合計が必ずしも100.0%にはならない場合がある。
3. 中学校等別教科別の評定状況については、「中学校等別評定割合」（個表）を参照のこと。
4. 上表についてのグラフは、別紙に掲載している。

(2) 今年度の調査結果の概要（参考資料1を参照）

- ア 「5」の評定の割合は、外国語（英語）、社会、数学の順に高く、「5」と「4」の評定の割合の合計は、全ての教科で35～39%となっている。
- イ 「3」の評定の割合は、保健体育、技術・家庭、美術の順に高く、いずれも50%を超えており、全ての教科で43～53%となっている。
- ウ 「1」の評定の割合は、数学、外国語（英語）、社会の順に高く、「2」と「1」の評定の割合の合計は、外国語（英語）で20%を超えている。

(3) 前年度の調査結果との比較

ア 評定の状況（参考資料2を参照）

「5」の評定の割合は、国語、社会、数学、美術、保健体育は0.1～0.3ポイントの微増、技術・家庭は増減なしであるが、理科、音楽、外国語（英語）は0.1～0.5ポイントの微減である。「4」の評定の割合は、保健体育は0.1ポイントの微増であるが、その他の教科では0.2～0.5ポイントの微減である。「3」の評定の割合は、理科は1.1ポイントの増加、国語、数学、音楽、技術・家庭、外国語（英語）は0.3～0.5ポイントの微増、社会は増減なしであるが、美術が0.2ポイント、保健体育が0.1ポイントの微減である。「2」の評定の割合は、美術が0.4ポイント、外国語（英語）が0.2ポイントの微増、社会、音楽は増減なしであるが、その他の教科は0.1ポイントの微減である。「1」の評定の割合は、社会、理科、音楽、美術、技術・家庭、外国語（英語）は増減なしであるが、国語、数学、保健体育は0.1～0.2ポイントの微減である。

9教科全体の評定の割合は、「3」が0.3ポイントの微増、「5」と「2」が増減なしであるが、「4」が0.3ポイント、「1」が0.1ポイントの微減である。

イ 特異な評定状況を示す教科のある学校（参考資料3を参照）

- (ア) 全教科にわたり、「1」の評定が付いていない学校は、前年度の4校から0校となった。
- (イ) 「2」と「1」の評定が全くない教科のある学校は、前年度と同様1校であった。
- (ウ) 「5」と「4」の評定の割合の合計が80%以上の教科のある学校は、前年度の2校から0校となった。
- (エ) 全教科にわたり、「5」の評定が付いていない学校、「5」と「4」の評定が全くない教科のある学校、「5」の評定の割合が50%以上の教科のある学校、「1」の評定割合が50%以上の教科のある学校、「2」と「1」の評定の割合の合計が80%以上の教科のある学校については、いずれも該当校はなかった。

(4) 調査結果の総括

区市教育委員会等は、管下の各中学校等における評定分布状況を分析して課題を把握するとともに、その課題を踏まえた指導・助言を継続的に行っている。今回の調査では、特異な評定状況を示す教科のある学校が1校あった。区市教育委員会等からは、管下の全ての中学校等において、学習指導要領の目標や内容に基づいて評価計画、評価規準等を作成し、十分な評価資料を基に各教科の観点別学習状況の評価及び観点別学習状況の評価を総括した上で評定を行っているという報告を受けている。

このことから、本年度の入学者選抜において、成績一覧表及び調査書に記載されている目標に準拠した評価は、全体としてはおおむね適正に実施され、客観性・信頼性は確保されていると判断できる。